

ジョホールバル・バスツアーに行ってきました

史蹟史料部歴史研究班

1月24日(土)、日本人学校の先生方に活動いただいている史蹟史料部歴史研究班で、シンガポールから陸路で繋がるマレーシア・ジョホールバルへバスツアーに行ってきました。歴史史料班では毎年年度末にツアーに出かけていますが、今年は初めてパスポートを持ってシンガポールを出発しました。

シンガポールから日帰りで買い物や食事に訪れる人が多いジョホールバルには、日本とシンガポールに関わる史蹟が残っています。在馬歴30年超、マレーシア情報に精通されたジョホール日本人会油井事務局長にもガイドに加わっていただき、歴史を紹介しながら、個人ではなかなか訪れることができない場所をご案内しました。

最初に訪問したのはジョホール州政府の本庁舎、スルタン・イブラヒム・ビルです。高台にあり、ジョホール海峡とシンガポール北部を見渡せる立地にあります。戦時中は日本軍に接收され、軍政・参謀・通信の中枢として使用されていました。しばしば、山下奉文将軍がここからシンガポールを見下ろしたと語られています。ここに常駐していた確証はありません。戦後は再び州政府庁舎となり、州政府の新庁舎が完成した後は歴史的建造物として保存されています。



スルタン・イブラヒム・ビル



ジョホール日本人会油井事務局長



旧衛兵詰所

イスタナ・ブサールは現在もジョホール州のスルタン(王様)が公式行事や儀式で使用する宮殿です。即位式、祝賀イベント、国家行事や公的な会見が行われます。広大な庭園や古い王室の衣装や宝飾品など歴史的資料が展示された王宮博物館もありますが、現在は一般非公開となっています。

イスタナ・ブキ・セレンはジョホール王室の公邸です。スルタ



イスタナ・ブサール

ンとその家族の居住、公式行事の場として使用され続けています。戦時中、日本軍占領期は一時的に軍の拠点として使われた記録があり、山下将軍はここに常駐し、塔から侵攻を計画していたと見られています。公邸前の駐車場には巨大な王冠のモニュメントと、塔のレプリカが並んでいます。



イスタナ・ブキ・セレン



王冠のモニュメント

イスタナ・ブサールやイスタナ・ブキ・セレンはジョホール海峡に面した場所にあり、1942年2月9日に近衛師団がシンガポールのクランジ付近に侵攻した出発地点を車窓から見学しました。現在は海岸が埋め立てられていますが、かつてこの辺りには近衛師団が渡河した場所として記念碑が建てられていました。

ジョホールバルからシンガポールへの進攻は3カ所に分かれて上陸した記録があり、1942年2月8日トゥアス付近に第18師団、1942年2月8日サリンブンビーチに第5師団、1942年2月9日クランジ付近に近衛師団が侵攻したとされています。渡河作戦の記念碑の1つ(第18師団)は終戦後、日本軍が自ら破壊してジョホール海峡に沈んでいましたが、海岸工事の際に発見され、現在はジョホールバル日本人墓地に置かれています。



かつての渡河記念碑
(出典)「大東亜戦争出征記念征南画録」



近衛師団の出発地付近

スルタナ・アミナ病院は19世紀末～20世紀初頭に開設された旧病院を前身としており、現在は近代的な設備に更新されています。戦時中は旧陸軍第三病院として使用されていました。「スルタナ」は称号であり「アミナ」はジョホールの王妃の名前です。



現在のスルタナ・アミナ病院



旧陸軍第三病院として使用されていたこともあった建物

ジョホール日本人会が管理するジョホールバル日本人墓地については、南十字星2023年10月号でご紹介しましたとおり、同地(および周辺地域)で亡くなった日本人の墓碑や記念碑を集めて管理されている歴史的な墓地です。戦前から存在した複数の日本人墓地・墓碑を整理・移設して現在の形になっています。先ほどご紹介した、ジョホール海峡から発見された第18師団の渡河記念碑が保管されています。



ジョホールバル日本人墓地



発見された渡河記念碑

ジョホールバル・バスツアーの最後の訪問場所は、ラーキンスタジアムでした。サッカー日本代表が1997年に1998 FIFAワールドカップ・フランス大会のアジア最終予選のアジア第3代表決定戦をイラン代表と戦い、勝利を収め、FIFAワールドカップ本戦初出場を決めた「ジョホールバルの歓喜」のスタジアムです。



ラーキンスタジアム

1993年のドーハの悲劇から4年、絶対に負けられない戦いがそこにあった1997年11月16日。サムライブルーの伝説の試合を展示しているジョホール・ジャパン・フットボールギャラリーを見学し、あの試合をリアルタイムで観ていた世代には感激の訪問となりました。「ジョホールバルの歓喜」がお隣のJBだと気付かなかったという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。サッカーファンの方、シンガポール滞在中にぜひ足を延ばしてみてください。



ジョホール・ジャパン・フットボールギャラリー



全員集合記念撮影



◀南十字星2023年10月号で紹介された
史蹟史料部ニュースレター#4「ジョホールバル日本人墓地」

文責・画像： 史蹟史料部 両頭真衣